

第43回(公社)宮城県芸術協会音楽コンクール ピアノ部門 予選

中級A

予選通過者番号

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 10 | 19 | 21 | 22 | 25 |
| 29 | 30 | 32 | 34 | 36 | 37 | 38 | 41 | 42 | 45 |
| 46 | | | | | | | | | |

審査講評: 岩倉 敦子 審査員長

皆さん大変よく勉強していらっしゃるって感心しました。指の訓練なども一生懸命されているのがわかりました。タイトルがついている曲を表現する時に、題名の持つイメージを持つこと、作曲された時代様式や背景を理解して演奏することが大切ですね。題名の意味をあれこれ想像し、自分なりの世界観を持って、心から味わって演奏していただきたいなと思います。

中級B

予選通過者番号

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 7 | 10 | 11 | 12 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 22 | 23 | 24 | 26 | 27 | 28 | 29 | 34 | 35 | |

審査講評: 岩倉 敦子 審査員長

審査員一同、Allegro のテンポ設定について考えさせられました。Allegro の本来の意味は“活発に、生き生きと”ですから、それを表現できるのであれば物理的な速度は求められておりません。まずは、楽譜をよく読み込んで、音色や歌い方をイメージし、ある程度形ができあがったら他の演奏を参考にすることが本当の近道になるかも知れません。ピアノだけではなく、オーケストラや他楽器の演奏をたくさん聴いて、耳と心を育てて行ってください。